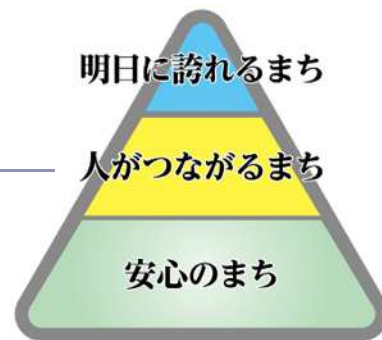


29年度運営方針 自己評価結果の総括



1 年間の取組成果と今後取り組みたいこと

区運営方針に掲げる各経営課題の戦略ごとの具体的取組については、着実に推進できており、目標は概ね達成し、一定の成果を得ることができたと認識している。

29年度運営方針に掲げる、各経営課題のめざすべき将来像・自己評価を要約したものです。詳細は都島区運営方針（[ホームページ](#)）をご覧ください。



経営課題 1 安全・安心のまちづくり

- ・ 区民の安全・安心を守るため、地域、企業、関係機関等と連携した防災・防犯活動等の取組を進めた。特に防災では、地域の防災訓練の支援をはじめ、区本部機能を強化するための災害用通信機器の配備や、避難所等の備蓄物資の充実を図った。
- ・ 引き続き、区民の防災意識の醸成を図るための啓発活動や地域の自主防災活動を支援する取組を推進する。

めざすべき将来像（10～20年を念頭に設定）

防災のまちづくり

- ・ 全区民が災害時の備えをし、**避難行動**できる状態

防犯のまちづくり

- ・ 全区民が防犯を意識し、取組を行っている状態
- ・ **街頭犯罪が起きない環境**が整っている状態

人に優しいまちづくり

- ・ 喫煙マナーが守られるなど、人に優しく、誰もが**安全に通行**ができる状態

自己評価

- ・ 区民の防災意識は着実に向上。
- ・ **自助・共助**の役割意識を更に高めていくため、引き続き自主防災組織への支援など地域や関係機関等と連携した取組を進める。
- ・ 日中や夜間の青色防犯パトロール、防犯キャンペーン等により、**街頭犯罪の減少**に寄与。今後も警察や地域と連携し、区内の街頭犯罪減少に向けた取組を推進。
- ・ 路上喫煙禁止地区指定前と比較して**喫煙マナー**が向上していると感じている区民は増加。
- ・ 区全体での喫煙マナー意識の浸透のため、引き続き地域と協働した啓発を推進。

運営方針 P. 4

みやレポ P. 3

みやこじまレポート

29 年度運営方針 自己評価結果の総括



経営課題 2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

- ・ 中間支援組織を活用した地域活動協議会の運営サポートや区民まつりへの参加促進に取り組んだ。また、健康展の実施、母乳育児の推進において教室や出前講座、啓発等に取り組んだ。
- ・ 今後、地域活動やイベント情報を SNS・広報誌等で発信するなど、地域、企業、関係機関等と連携して取り組む。また、健診受診率向上に向けた取組をはじめ、地域福祉コーディネート事業など、誰もが健康で安心して生活ができる健康・福祉の取組を推進する。

めざすべき将来像（10～20 年を念頭に設定）

豊かなコミュニティの実現

- ・ 身近な地域の中で、大規模災害をはじめ様々なりすくに耐え得る**強靱な地域社会づくり**が進んでいる状態

多様な主体の協働の実現

- ・ 地域団体、市民などの活動主体と行政が協働する**マルチパートナーシップ**が実現している状態

中間支援組織の活用による地域の活性化

- ・ 人や活動をつなぐ中間支援機能の充実によって、地域人材が育成・活用されている状態

いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

- ・ 身近なところに福祉の相談窓口があり、**気兼ねなく利用できる状態**
- ・ 区民がいきいきと**健康で生活できる状態**
- ・ 子どもの安らかな発達が促進され、母親が安心して母乳育児ができ、**育児不安が解消される状態**

自己評価

- ・ **区民まつり**などは一定の効果が見られた。
- ・ 市政改革プラン 2.0（区政編）に掲げる目標は達成。長期的視点での継続的取組が必要である。
- ・ 地域活動協議会による自律的な取組は着実に進んでいる。
- ・ **中間支援組織**の支援によって地域に即した取組は進んでいる。中長期の継続的取組が必要である。
- ・ **地域福祉コーディネーター**の活動は、9,000 件以上の実績で推移。今後も、認知度向上に努める。
- ・ **母乳育児**の推進は、業績目標を達成、さらに取組を展開していく。

運営方針 P.10

みやレポ P. 9

29 年度運営方針 自己評価結果の総括



経営課題 3 明日に誇れるまちづくり

- ・ 蕪村などの歴史・文化、京橋の魅力など、インターネットを活用した動画発信に取り組んだ。また、スクールソーシャルワーカーによる子ども相談をはじめ、教育施策の推進や子育てしやすい環境の整備などに取り組んだ。
- ・ 今後、実践的な英対話力の向上等、グローバル化時代に必要なコミュニケーション能力の育成をはじめ、区の実情にあった施策を着実に推進する。

めざすべき将来像（10～20年を念頭に設定）

魅力あるまちづくり

- ・ まちの魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態

未来の都島を担う人材育成

- ・ 保護者が安心して子育てでき、環境に左右されることなく、子どもの可能性が最大限活かされる状態

自己評価

- ・ **桜ノ宮ビーチ**で、セレッソ大阪と連携したファミリーサッカー教室を開催。**京橋地域**では、地元商店会等と連携した外国人観光客誘致の取組を進めているが、継続した取組が必要である。
- ・ 具体的取組は概ね業績目標を達成。**人材の育成**は、取組の効果がすぐに現れるものではないため、継続して中長期的な取組が必要である。

運営方針 P.20

みやレポ P.18

29年度運営方針 自己評価結果の総括

経営課題 4 区役所力の強化

- ・ 広報誌の全戸配付・SNS 等による情報発信をはじめ、区政会議、「市民の声」等でのご意見について区政への反映に取り組んだ。また、住民情報窓口状況の Web 確認システムの導入など、窓口サービス改善に向けた取組を進めた。今後、情報媒体を有効に組み合わせた情報発信に取り組むとともに、サービス向上への底上げを図る。

めざすべき将来像（10～20 年を念頭に設定）

区民の声が区政に反映される仕組みづくり

- ・ 多様な区民の意見やニーズを、区民に届けられ、施策等の企画・計画から評価において区民主体の自治が実現している状態

総合行政の拠点としての区役所づくり

- ・ 区役所が、区民に身近な総合行政の拠点として、信頼されている状態

区民が満足・納得できる区役所運営

- ・ 区役所が、区民・来庁者にとって快適で満足できる場所となるとともに、区役所業務の運営に、区民が納得していただける状態

自己評価

- ・ 区政会議を開催し、区政会議委員のアンケート結果は評価を頂いた。
- ・ 広報誌の全戸配付を実施、一定の評価を得た。
- ・ SNS 等の活用に係る評価は目標に達せず。今後も情報発信の強化に努める。
- ・ 総合行政としての対応に対する満足度は向上。今後も区役所と関係機関との連携を強化しサービスの向上に努める。
- ・ 「来庁者等に対する窓口サービス」の格付け結果が「評価点 3.2 1 つ」であったため、引き続き接遇研修等を実施し、職員の接遇スキル向上に努める。
- ・ 庁舎案内表示の改善や、窓口状況の Web 確認システムの導入などソフト面を中心に改善を実施。

運営方針 P.27

みやレポ P.26

解決すべき課題と今後の改善方向

「市政改革プラン 2.0 区政編」の改革の柱である、「地域社会における住民自治の拡充」について、地域活動協議会の認知度向上や、担い手不足の解消など、解決すべき課題があると認識している。

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現に向け、地域活動やイベント情報を、広報誌の連載などあらゆる機会を通じて発信し、地域コミュニティの活性化につなげていくとともに、路上喫煙マナーの向上や、区民の意見・ニーズの的確な把握に努めるなど、より効果的な区政運営に取り組んでいく。